

新 ITC-LMS について

2019年3月に情報基盤センター学習管理システム ITC-LMS を更新しました。新 ITC-LMS は旧 ITC-LMS を一部変更したシステムです。以下に主な変更点を列挙します。

- 履修者と担当教員（及び TA）との間で、メッセージのやり取りが可能となりました。担当教員の連絡先を履修者が知らなくても、ITC-LMS 上で質問することが可能です。
- 従来の「掲示板」機能について、一般のチャットアプリやメッセージアプリに近いデザインに変更しました。その他、担当教員（及び TA）の間での議論にも利用可能となりました。
- 課題や教材の新規作成などの更新情報の通知を、従来の電子メールに加えて LINE のアカウントにも送信可能となりました。但し、ユーザ本人が設定する必要があります。
- Learning Technology Interoperability (LTI) に準拠する外部のツールやサービスと連携可能となりました。
- UTAS での履修登録が確定するまでの期間は、どのコースにおいても学生が自己登録可能としました。但し、コースの担当教員が自己登録を禁止した場合を除きます。
- メニューの配置や配色など画面のデザインを全体的に見直しました。また、教員向けの画面には履修者の氏名を表示します。
- e ポートフォリオシステム及び Learning Record Store (LRS) の試行運用を開始します。

個々の機能の具体的な使い方についてはユーザマニュアルをご覧ください。ITC-LMS にログイン後に PDF 形式のファイルとしてダウンロードできる他、必要な方には情報基盤センターの窓口で冊子を配布しています。

新 ITC-LMS の運用開始に当たっては、動作確認や負荷試験などを十分行っておりますが、お気づきの点やご不明な点、その他ご意見などがございましたら、下記のメールアドレスにお知らせください。

本サービスのご案内 Web サイト（旧 ITC-LMS と同じ）

<https://www.ecc.u-tokyo.ac.jp/itc-lms/>

<https://itc-lms.ecc.u-tokyo.ac.jp/>

お問い合わせ用メールアドレス

lms-support@itc.u-tokyo.ac.jp

（教育駒場チーム・教育本郷チーム）